

平成26年第4回嬉野市議会定例会会議録

招 集 年 月 日	平成26年12月5日					
招 集 場 所	嬉野市議会議場					
開 閉 会 日 時 及 び 宣 告	開会	平成26年12月5日 午前10時00分			議 長 田 口 好 秋	
	散会	平成26年12月5日 午前10時30分			議 長 田 口 好 秋	
応（不応）招 議員及び出席 並びに欠席議員	議席 番号	氏 名	出欠	議席 番号	氏 名	出欠
	1番	生 田 健 児	出	10番	山 口 政 人	出
	2番	宮 崎 良 平	出	11番	芦 塚 典 子	出
	3番	川 内 聖 二	出	12番	大 島 恒 典	出
	4番	増 田 朝 子	出	13番	梶 原 睦 也	出
	5番	森 田 明 彦	出	14番	田 中 政 司	出
	6番	辻 浩 一	出	15番	織 田 菊 男	出
	7番	山 口 忠 孝	出	16番	西 村 信 夫	出
	8番	田 中 平 一 郎	出	17番	山 口 要	出
	9番	山 下 芳 郎	出	18番	田 口 好 秋	出

地方自治法 第121条の規定 により説明の ため議会に出席 した者の職氏名	市長	谷口 太一郎	市民協働推進課長	田中 秀則
	副市長	中島 庸二	文化・スポーツ振興課長	
	教育長	杉崎 士郎	福祉課長	池田 秋弘
	総務部長 市民課長兼務	筒井 保	健康づくり課長	染川 健志
	企画部長	中島 憲郎	健康福祉課長	
	健康福祉部長		農林課長	納富 作男
	産業振興部長	山口 健一郎	うれしの温泉観光課長	宮崎 康郎
	建設部長	中尾 嘉伸	うれしの茶振興課長 農業委員会事務局長兼務	
	教育部長 教育総務課長兼務	井上 嘉徳	建設・新幹線課長	早瀬 宏範
	会計管理者 会計課長兼務	山口 久義	環境下水道課長	横田 泰次
	総務課長 選挙管理委員会事務局長兼務	池田 英信	水道課長	
	財政課長	中野 哲也	学校教育課長	
	税務収納課長	井上 親司	監査委員事務局長	
	企画政策課長	池田 幸一		
本会議に職務 のため出席した 者の職氏名	議会事務局長	永江 邦弘		

平成26年第4回嬉野市議会定例会議事日程

平成26年12月5日（金）

本会議第1日目

午前10時 開議

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 諸般の報告
- 日程第4 議案第75号 専決処分の承認を求めることについて（平成26年度嬉野市一般会計補正予算（第7号））
- 日程第5 議案第76号 嬉野市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例について
- 日程第6 議案第77号 嬉野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例について
- 日程第7 議案第78号 嬉野市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について
- 日程第8 議案第79号 嬉野市営浄化槽条例について
- 日程第9 議案第80号 嬉野市嬉野温泉駅周辺まちづくり委員会設置条例について
- 日程第10 議案第81号 嬉野市情報公開条例について
- 日程第11 議案第82号 嬉野市部設置条例の一部を改正する条例について
- 日程第12 議案第83号 嬉野市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について
- 日程第13 議案第84号 嬉野市営駐車場条例の一部を改正する条例について
- 日程第14 議案第85号 嬉野市国民健康保険条例の一部を改正する条例について
- 日程第15 議案第86号 嬉野市営住宅条例の一部を改正する条例について
- 日程第16 議案第87号 指定管理者の指定について（嬉野市嬉野老人福祉センター）
- 日程第17 議案第88号 指定管理者の指定について（嬉野市いきいきデイサービスセンター「湯っくらーと」）
- 日程第18 議案第89号 指定管理者の指定について（嬉野市志田焼の里博物館）
- 日程第19 議案第90号 平成26年度嬉野市一般会計補正予算（第8号）
- 日程第20 議案第91号 平成26年度嬉野市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- 日程第21 議案第92号 平成26年度嬉野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
- 日程第22 議案第93号 平成26年度嬉野市農業集落排水特別会計補正予算（第1号）
- 日程第23 議案第94号 平成26年度嬉野都市計画下水道事業嬉野市公共下水道事業費特別会計補正予算（第1号）
- 日程第24 議案第95号 平成26年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野第七土地区画整理事業費

特別会計補正予算（第1号）

- 日程第25 議案第96号 平成26年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野第八土地区画整理事業費特別会計補正予算（第1号）
- 日程第26 議案第97号 平成26年度嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計補正予算（第2号）
- 日程第27 議案第98号 嬉野市固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 日程第28 議案第99号 嬉野市固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 日程第29 議案第100号 嬉野市固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 日程第30 議案第101号 嬉野市固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 日程第31 委員長報告
- 文教厚生常任委員会 学力向上への取り組み及び伝統的建造物群の在り方について
- 産業建設常任委員会 市内の砂防ダムについて

午前10時 開会

○議長（田口好秋君）

皆さんおはようございます。本日は、平成26年第4回嬉野市議会定例会に御出席いただきまして御苦労さまです。

本日は全員出席であります。定足数に達しておりますので、ただいまから平成26年第4回嬉野市議会定例会を開会いたします。

今議会の議会運営につきましては、12月3日に議会運営委員会を開催していただきましたので、その結果について報告を求めます。田中政司議会運営委員長。

○議会運営委員長（田中政司君）

皆さんおはようございます。それでは、本定例会につきましの会期日程案について御報告を申し上げます。

本日第1日目、12月5日本会議を開会ということで、12月18日までの14日間の会期日程ということになっております。

12月6日、土曜日が休会、12月7日、日曜日、休会。

12月8日、月曜日、委員会、12月9日、火曜日、委員会。

12月10日、水曜日、本会議で一般質問。本定例会におきましては14名の一般質問の予定が組まれておりますので、12月10日から12日まで、12月10日、水曜日、一般質問5名、12月11日、木曜日、一般質問5名、12月12日、金曜日、一般質問4名ということで行います。

12月13日、土曜日、休会、12月14日、日曜日、休会。

12月15日、月曜日から12月16日、火曜日までの2日間、議案質疑。

12月17日、水曜日、休会。

12月18日、木曜日、討論、採決、閉会という予定で行いたいというふうに思います。

○議長（田口好秋君）

議会運営につきましては、ただいま委員長から報告のあったとおりであります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑なしと認めます。これで今議会の議会運営についての報告を終わります。

それでは、直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程につきましては、お手元に配付のとおりであります。

日程第1．会議録署名議員の指名を行います。

嬉野市議会会議規則第85条の規定により、会議録署名議員に5番森田明彦議員、6番辻浩一議員、7番山口忠孝議員を今会期中指名いたします。

日程第2．嬉野市議会会議規則第4条の規定により、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期は、本日から12月18日までの14日間にしたいと思えます。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。会期は、本日から12月18日までの14日間に決定いたしました。

なお、会期中の会議予定につきましては、お手元に配付しております会期日程のとおりでありますので、御了承をお願いいたします。

日程第3．諸般の報告を行います。

本日までに提出されました平成26年陳情第15号から陳情第20号までにつきましては、お手元に配付しております陳情文書表のとおりであります。

また、本日までに受理しました請願第3号は、嬉野市議会会議規則第136条第1項の規定に基づき、お手元に配付しております請願文書表のとおり産業建設常任委員会に付託します。

これで諸般の報告を終わります。

日程第4．議案第75号 専決処分の承認を求めることについて（平成26年度嬉野市一般会計補正予算（第7号））についてから日程第30．議案第101号 嬉野市固定資産評価審査委員会委員の選任についてまでを一括して議題といたします。

朗読を省略いたしまして、提案理由の説明を求めます。市長。

○市長（谷口太一郎君）

皆様おはようございます。ただいま平成26年第4回嬉野市議会が開会になりました。会期中、真摯に努力をしたいと思えますので、よろしくお願いをします。

それでは、早速でございますけれども、提案理由について述べさせていただきたいと思

ます。

本日、平成26年第4回嬉野市議会定例会の開会に当たり、議員の皆様の日ごろの御活動、御活躍に敬意を表しますとともに、本市行政に対します御尽力と御支援、御協力に厚く御礼を申し上げるところでございます。

初めに、国による経済対策に、本市においてもがんばる地域交付金事業などに取り組み、地域経済の浮揚に努力してまいりましたが、地方の景気が回復するまでには至っていないのが現状でございます。

このような中、去る11月21日に衆議院が解散され、12月14日に第47回衆議院議員総選挙が行われます。今回の総選挙後の新政権には地方の景気回復を早期に実現していただくよう積極的な政策の取り組みを希望するところでございます。

さて、本市におきましては、三根孝一様、三根由紀子様御夫妻が平成26年度農林水産祭、蚕糸・地域特産部門において内閣総理大臣賞を受賞されました。これは三根孝一様が地域のリーダーとして活躍され、三根由紀子様が地域で女性の経営参画、茶育活動をされるなど、地域内の茶生産者の模範として高い評価を得ておられることによるものでございます。

三根様御夫妻がこの賞を授与されましたことは大変喜ばしく、また嬉野茶の振興について、今後につながるものと確信しているところでございます。

また、10月下旬に開催されました佐賀県民体育大会において、嬉野市がソフトテニス競技で総合優勝を勝ち取りました。市体育協会関係者の皆様と市ソフトテニス協会の皆様に心から敬意を表しますとともに、嬉野市のスポーツ振興のリーダーとしての御活躍を御祈念申し上げます。

九州新幹線西九州ルート工事につきましては、嬉野市内のトンネル部分を既に着工していただき、順調に推進されてまいりました。そして、このほど新幹線工事の象徴と考えておりました嬉野温泉駅高架工事の着工を迎えることができました。今後も地権者や地域の皆様の御理解をいただき、順調に推進されるように期待いたしております。

11月上旬には第37回全国町並みゼミ鹿島・嬉野大会が開催され、市内各所において分科会などが行われました。全国各地で町並み保存活動や歴史を生かしたまちづくり活動を行っている団体との熱心な交流を続けていただきました。今後の塩田津の町並みを初めとする歴史遺産活用に生かしていただければと考えておるところでございます。

また、例年6月に行われておりました全日本柔道連盟女子強化合宿が12月19日から23日までの5日間、市体育館において行われます。今年で4年連続の開催となり、今後、国際試合への参加が予定される選手を含め、多くの選手の参加が予定されております。今回は国際大会直前ではないため、これまで以上に小・中学生などへの指導に当たっていただけるとのことでございますので、将来、トップアスリートを目指す県内外の柔道選手にとっては充実した内容になるものと喜んでおります。また、来年9月には本市において、2015年日本ベテラ

ンズ国際柔道大会が世界各国の30歳以上の柔道愛好者500名程度の参加予定で開催されます。これもひとえに市柔道協会など関係の皆様の御尽力のたまものと感謝申し上げます。

市では、今後もさまざまな大会や合宿を通じて嬉野市のPR活動を行い、嬉野温泉の知名度アップを図っていきたいと考えておりますので、議員の皆様の御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

それでは、今定例会に提出いたしました議案につきまして、その概要を御説明申し上げます。

提出案件は、専決処分の承認を求めるもの1件、条例の制定5件、条例の全部改正1件、条例の一部改正5件、指定管理者の指定3件、平成26年度補正予算議案8件、同意を求めるもの4件の全部で27件について御審議をお願いするものでございます。

まず、議案第75号は、衆議院が解散されたことに伴う衆議院議員総選挙に係る費用について、予算の専決処分を行いましたので承認を求めるものでございます。

次に、議案第76号から議案第78号の3議案につきましては、児童福祉法等の上位法の規定に基づき条例を制定するものでございます。

議案第79号 嬉野市営浄化槽条例については、下水道計画区域以外の未普及地域に係る汚水処理施設の一層の整備促進を図るため、条例を制定するものでございます。

議案第80号 嬉野市嬉野温泉駅周辺まちづくり委員会設置条例については、九州新幹線西九州ルート、嬉野温泉駅（仮称）設置に伴い、駅周辺のまちづくりを推進するため条例を制定するものでございます。

続きまして、議案第81号 嬉野市情報公開条例については、情報公開のさらなる推進を図るため、条例の全部改正を行うものでございます。

議案第82号 嬉野市部設置条例の一部を改正する条例については、平成27年4月に組織機構改革を行い、より一層行政サービスの向上を図るため、条例の一部改正を行うものでございます。

続きまして、議案第83号 嬉野市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例については、国家公務員の給与改定等に準じ、市職員の給与を改正するため条例の一部改正を行うものでございます。

議案第84号 嬉野市営駐車場条例の一部を改正する条例については、使用料の額を変更するため条例の一部改正を行うものでございます。

議案第85号及び議案第86号につきましては、関係法令等の一部改正に伴い、条例の一部改正を行うものでございます。

議案第87号から議案第89号までの3つの議案につきましては、嬉野老人福祉センターなど3施設の指定管理者の指定期間が平成27年3月31日で満了となるため、引き続き指定をいたしたいので議決をお願いするものでございます。

議案第90号から議案第97号までの8議案につきましては、平成26年度嬉野市一般会計初め各特別会計の補正予算でございます。

初めに、議案第90号 平成26年度嬉野市一般会計補正予算（第8号）について御説明申し上げます。

歳入歳出それぞれ6億7,323万1,000円を追加し、補正後の予算総額を144億3,435万9,000円とするものでございます。

今回の補正は、主にはそれぞれの事務事業において、年度末までに必要となる所要見込み額にあわせ補正を行うとともに、前年度繰越金7億206万9,000円のうち地方財政法の規定によりその2分の1以上を基金へ積み立てることとされていることから、財政調整基金と減債基金にそれぞれ1億8,000万円ずつの積立金を計上いたしております。

また、職員給与費について、給与改定と異動に伴い減額補正を行っております。

また、佐賀県知事の辞職に伴い県知事選挙が行われますので、これに係る経費を計上いたしております。

また、いわゆるマイナンバー制度導入を控え、個人情報保護制度再構築支援業務委託料を継続費として計上いたしております。

ふるさと応援寄附金につきましては、インターネットを活用した寄附の受付を行うようになり、寄附の額が大きく伸びる見込みでございますので、寄附の額を増額補正いたしております。

うれしの茶交流館につきましては、今回基本設計業務、実施設計業務の委託料を計上し、長年の構想が建設に向けて動き出すこととなります。また、事務の効率化を目指して来年4月に機構改革を計画しており、事務室の移転に伴う経費などを計上いたしております。これらのほかにも急を要する事務事業の経費などを計上いたしておるところでございます。

なお、財源といたしましては、前年度繰越金や国、県の負担金、補助金などを計上いたしております。

次に、議案第91号 平成26年度嬉野市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について、御説明いたします。

今回の各種交付金、納付金等で確定したものや保険給付費の最終見込みにあわせ、歳入歳出の補正を計上いたしております。

次に、議案第92号 平成26年度嬉野市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について、御説明いたします。

歳入予算に繰越金を計上し、その繰越金について、広域連合へ納付すべき額と一般会計へ繰り戻す額に振り分けて予算を計上いたしております。

次に、議案第93号から議案第96号までの特別会計の補正予算につきましては、主に前年度繰越金等を歳入予算に計上し、一般会計繰入金を減額するものでございます。

次に、議案第97号 平成26年度嬉野市嬉野都市計画事業嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計補正予算（第2号）について、御説明いたします。

歳入に、国庫委託金として公共施設管理者負担金を計上し、歳出に、物件移転補償費等を計上いたしております。

以上で、議案第90号から議案第97号までの補正予算について、簡単ではございますが、提案理由の説明とさせていただきます。

次に、議案第98号から議案第101号までの4議案、嬉野市固定資産評価審査委員会委員の選任については、現在の委員4名の方々の任期が、地方税法第423条第6項の規定により平成27年2月16日で満了となられるため、同条第3項の規定により尾形民生氏、北川正大氏、一ノ瀬真氏及び川原律子氏の4氏を新たに固定資産評価審査委員会委員に選任したいので、議会の御同意をお願いするものでございます。

経歴等については別添資料のとおりでございます。いずれの方も人格高潔で各分野に識見が広く、固定資産評価審査委員会委員としてまことにふさわしい人物と存じ上げますので、ぜひ議員の皆様方の御同意をお願い申し上げます。

以上で、本議会に提案いたしました議案27件につきまして概要説明を終わりますが、各議案の詳細な内容につきましては担当課長から説明させますので、何とぞ慎重な御審議をお願い申し上げます。

なお、今会期中に追加提案を予定しておりますので、あらかじめ御了承いただきますようお願い申し上げます。

最後になりますが、今議会では14名の議員の皆様より一般質問をお受けいたしておりますので、真摯にお答え申し上げたいと思いますので、よろしくようお願い申し上げます。

以上で、提案理由の説明とさせていただきます。どうかよろしくようお願い申し上げます。

○議長（田口好秋君）

これで提案理由の説明を終わります。

お諮りします。議案第75号から議案第101号までにつきましては、委員会付託を省略したいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、議案第75号から議案第101号につきましては、委員会付託を省略することに決定いたしました。

日程第31. 委員長報告を議題といたします。

閉会中に各常任委員会に付託しておりました調査事件について、各常任委員長に報告を求めます。

まず、文教厚生常任委員会の付託事件、学力向上への取り組み及び伝統的建造物群の在り方についての報告を求めます。大島恒典文教厚生常任委員長。

○文教厚生常任委員長（大島恒典君）

皆さんおはようございます。それでは、文教厚生常任委員会の報告をいたしたいと思いません。

平成26年9月議会において付託された下記事件の調査結果を、嬉野市議会会議規則第107条の規定により報告する。

付託事件名、学力向上への取り組み及び伝統的建造物群の在り方について。

調査の理由。

全国学力・学習状況調査において、毎年トップクラスにある秋田県の学力向上の取り組みについて、県庁所在地でもある秋田市において10月20日に調査を行った。また、国内で最初に伝統的建造物群地域に指定された仙北市（角館地区）において、今後の嬉野市の整備の進め方の参考にするために、21日に調査を行いました。

調査の概要につきましては長文になりますので、後だってお目通しいただきたいと思いません。

委員会の意見を申し上げたいと思います。

今回、秋田市の学力向上のための諸施策の取り組みを研修して感じられたことは、教育の柱と位置づけられている「小中一貫した考えに立った」教育の展開である。教職員の小・中相互研修や全体研修、また、複数の中学校では、生徒たちに母校の小学校で授業を行ってもらうなど、児童・生徒の交流も盛んに進められており、それを支える連携体制として、小中連携協議会が組織されており、小・中9年間通しての教育が展開されている。

二学期制については、秋田市においては早くから取り組まれており、現在、国から出されている指導要領のボリュームを見た場合、授業時数の確保をするには三学期制には戻せないし、また、保護者からの見直しの意見もなく二学期制が定着していると感じた。全国的に進められているICT教育については、秋田市においては財政的な問題もあるが、現在のICT教育の環境（ハード面、ソフト面）を見たときに早急に進めるべきではないとの意見であり、先生方の授業力が生かされるような環境が整ったときに導入していけばよいのではとの考えであった。

子どもたちの学習状況は、通塾率において小6で約25%、中3で約45%と全国平均よりも低い状況であるが、家庭学習については8割以上の子どもたちが宿題とは別のものという意識で取り組んでいるとのことであった。

秋田市の教育委員会では、教育の本質は心を育てることが大切であり、知・徳・体どれも大事だが、徳の教育が最重要との考え方が脈々と受け継がれているとのことであった。また、子どもたちの心の状態を調べるために、全ての学校に予算化し、小2、中2の生徒に年に複数回Q-U調査をしているとのことであり、この調査をすることにより、子どもたちの今の心の状態を知ることができ、生活指導などで役立っているとのことであり、嬉野市とし

でも検討に値すると考える。

最後に、全国学力・学習状況調査の結果公表については、秋田市でも行っていないし、都道府県別の公表も否定されていた。わずかのポイントの差を公表して序列化をあおるよりも、調査結果をよく把握し、今後の子どもたちの教育に生かしていくことが大事であるとのことで同感したわけではありますが、全国トップを走り続ける秋田市における教育の自信を見た思いでありました。

次に、伝建地区ですけれども、これも調査の概要は後だってお目通しいただきたいと思えます。

委員会の意見を申し上げます。

角館地区の伝統的建造物群保存地区指定は、昭和51年に国内最初の指定を受けて、現在50年ほど経過しており、整備は進んでいる状況にあります。伝統的建造物の保存事業は文化財保護の観点から見れば終わることがない、半永久的に継続していかなければならない事業である。現在、国による建造物群の指定も進み、国内に108カ所が指定を受け整備が進められており、今後は国の支援もとりにくい状況が考えられる。そのためにも突発的な修理など発生しないよう、日ごろから地区内の家屋の状況調査や整備台帳の整備も含め優先順位を決め、計画的に対応していくべきである。

どこの伝建地区でも同じような課題を抱えているが、角館地区も住民の高齢化が進んでおり、空き家対策や、今後、後継者をどのように確保していくかが課題とのことであった。また、角館では武家屋敷とともに、シンボルでもあるしだれ桜の（延命措置）病虫害駆除や、高くなり過ぎて降雪時には年間2、3回の落雪事故を起こすモミノキやアカマツなど、環境物件の維持管理業務が大変だとのことである。

角館は、観光客の数値を見れば仙北市内への経済的波及効果も大いに貢献していると考えられる。しかしながら、角館において地区内の整備について観光予算は一切使用していないということであり、あくまでも文化財の予算と切り離して整備しておられるとのことで驚いたところである。

今後とも、塩田津の整備に当たっては、地区内に居住されている方や市民のコンセンサスを得ていく必要があり、伝建の意義について市民に対して啓蒙・発信していくことが大事と考える。

以上でございます。

○議長（田口好秋君）

ただいまの報告に対して質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

お諮りいたします。本件についてはただいまの報告のとおり了承したいと思います。これ

に御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、学力向上への取り組み及び伝統的建造物群の在り方については、報告のとおり了承することに決定いたしました。

次に、産業建設常任委員会の付託事件、市内の砂防ダムについての報告を求めます。辻浩一産業建設常任委員長。

○産業建設常任委員長（辻 浩一君）

それでは、産業建設常任委員会報告を行います。

平成26年9月議会において付託された下記事件の調査結果を、嬉野市議会会議規則107条の規定により報告する。

付託事件名、市内の砂防ダムについて。

調査理由、平成26年11月4日に行いました。

近年、全国的に大雨や集中豪雨による土石流災害が発生しており、市内においても、ことし7月の大雨により、急傾斜地や農地、また道路の崩壊が発生した。今後も、地球温暖化による大雨やゲリラ豪雨などによる土石流の発生が予想される。そこで、土石流被害の予防となる市内砂防ダムの現状について、計画地、建設着工地、竣工地の現地調査を行った。

調査箇所は次のとおり。

永石川第1、平山川第2、俵坂川第1の3カ所でございます。

現状につきましては、ここに書いてあるとおりでございますので、お目通しをください。

委員会の意見。

3カ所とも急峻な溪流を背しており、永石川第1と平山川第2は同規模の規格であった。

急傾斜地や地すべり地帯、農林地崩壊防止などの要望は多いが、砂防ダム建設の実行については、通常目につかない場所が多いため、ほとんど地元からの要望ではなく行政主導の計画である。

採択については、地元の理解と協力が必要であり、砂防ダムの必要性や公共性を日ごろから十分に周知することが重要であると考えます。

一時期、政権交代による国の方針がコンクリートから人への考えから、無駄な公共投資と軽視された嫌いがあるが、しかし、近年の想定を超える豪雨による甚大な土石流災害が全国的に発生していることや、今後も豪雨の発生が増大することが予想されていることを考慮するならば、砂防ダムは土石流災害を防止し、生命、財産、インフラを守るために有効な手段であり、国の方針である国土強靱化計画の考え方に沿って積極的に推進すべき施策の一つと考える。

以上でございます。

○議長（田口好秋君）

ただいまの報告に対し、質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

お諮りいたします。本件について、ただいまの報告のとおり了承したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、市内の砂防ダムについては報告のとおり了承することに決定いたしました。

以上で本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれで散会いたします。

午前10時30分 散会